

令和元年度 板橋区立美術館運営協議会 会議概要

|               |   |
|---------------|---|
| 開催日時          | 令和元年11月22日(金) 10時00分から11時30分  |
| 開催場所          | 板橋区立美術館講義室  |
| 出席者           | 12人<br>[委員] 岸委員、柴田委員、返町委員、長田委員、降旗委員、安村委員<br>[区職員] 坂本区長、有馬区民文化部長、吉田文化・国際交流課長、池田美術館長、松岡館長代理、弘中学芸員                 |
| 会議の公開<br>(傍聴) | <u>公開(傍聴できる)</u> 部分公開(部分傍聴できる) 非公開(傍聴できない)  |
| 傍聴者数          | 0人  |
| 議題            | 1 報告事項<br>平成30年度 事務実績報告<br><br>2 審議事項<br>① 令和2年度 展覧会展示計画及び概要<br>② 令和2年度 展覧会内容<br>③ 令和2年度 教育普及事業計画               |
| 配布資料          | ① 令和元年度「板橋区立美術館運営協議会」次第<br>② 令和元年度「板橋区立美術館運営協議会」委員名簿<br>③ 平成30年度 事務実績(総括)<br>④ 令和2年度 年間展示計画<br>⑤ 令和2年度 教育普及事業計画 |
| 所管課           | 区民文化部 文化・国際交流課 美術館 3979-3251  |

議事状況  
(会議概要)

(司会：吉田文化・国際交流課長)

【委員委嘱】

【区長挨拶】

【会長互選】

※出席委員の推薦及び総意により、寺田農委員に引き続き会長をお願いすることになった。会長欠席のため、委員在籍年数が最長の長田委員を進行役とし議事進行した。

長田委員（以下、進行役）：それでは、改めて議事に入らせていただく。

【報告事項】

（池田館長が資料の1頁から5頁に基づき「平成30年度事務実績」について説明）

委員：ポローニャ展の来館者数は例年と比べどうだったか。

館長：例年と異なる成増アートギャラリーで開催したこともあり、来館者数は例年より少なかった。

委員：議会からの質問の中で、障がい者の働く場所としてカフェを設置してはどうかとあるが、非常に良いことだと思うがどうなったのか。

館長：大規模改修の際に、様々な視点から働く場所として設置することを検討してきたが、改修しても専用の休憩場所など必要な機能の場所の確保ができないため難しいと判断した。

委員：議会からの質問の中で、ゴジラを生んだ作家の関係者とか近現代美術品の収集家の方のコレクションを活用した展覧会の開催とある。この館は3つの柱を中心に展覧会を構成しているのは承知しているが、3～4年に一回くらいはこの枠から外れた展覧会を開催してみてもどうか。但し、そのためには学芸員の増などが必要にはなるが、検討してみてもと思う。

委員：休館中に当館の近現代コレクションを有効活用した展覧会を、川越市美術館と群馬県立館林美術館にておこなったことは素晴らしいと思う。今後もこういった貸出を継続的にやっていくのかどうか。また、絵本関係は所蔵品があるのかどうか。

弘中：ご指摘いただいた近現代コレクションの活用については、現在、総務省の外郭団体の地域創造の事業として、令和3年の春から豊島区の所蔵品と共に池袋モンパルナス展を巡回展で開催する予定がある。

館長代理：レオ・レオーニの作品が、巡回展終了後の令和2年6月頃に寄贈される予定である。

委員：今後は絵本の所蔵品の充実も考えたらどうか。

館長代理：検討していきたい。

委員：これからも近現代及び江戸絵画の所蔵品の充実を図っていくのですか。

弘中：検討していきたい。

【審議事項】

進行役：次に、令和2年度展覧会、展示計画など概要について説明をお願いします。

(池田館長が資料6頁に沿って、令和2年度展示計画概要を説明)

(引き続き、各担当学芸員及び館長が資料7頁～14頁に沿って展覧会の内容を説明)

●質疑

委員：館蔵品展古美術の5つのテーマとは、どういう分け方を考えているのか。

植松：内容的、または見せ方的分け方にするか検討中である。

委員：マスコミは、キーワードで判り易く分けると取り上げてくれることが多いので、そのように考えた方がいい。

委員：レオ・レオーニの作品寄贈はどういった経緯からか。

館長代理：これまで当館が、絵本を美術として調査・研究してきたことが評価された結果と考えている。

委員：意見として。今回の大規模改修は、小さい規模の美術館のリニューアルの先進事例として、これから改修を予定している美術館の良い参考になると思う。また、規模が小さい美術館ながら、展覧会も普及的・研究的な視点がきちんとバランスがとれている、とても良い活動をされていると思う。質問として、レオーニの作品コレクションは他の美術館にあるのか。

館長代理：レオ・レオーニは、自分の作品をほとんど売らなかった方で、ほとんど全ての作品を自身で管理しており、それを遺族が引き継いだ。アメリカのエリックカール美術館に、絵本原画等何点かの作品が収蔵されているというのは聞いている。

委員：「誰も知らないレオ・レオーニ展」なので、絵本以外の広い範囲での展示を期待している。

館長代理：様々な方に来ていただけるような展示を目指していきたい。

委員：ボローニャ展ですが、パラリンピック記念で視覚障がい者向けの展示を目指すとのことだが、聴覚障がい以外の障がい者に対してもケアで出来るような展示を行ったらどうか。

館長代理：視覚障がい者の団体等の意見を聴きながら、展示計画を練ろうと考えている。また、聴覚障がい以外の障がい者への配慮も必要だと認識しているので、併せて検討したい。なお、美術館の建物やスタッフの考え方はバリアフリーである。

委員：西高島平からの案内看板に外国語表記がない、また、もう少し看板が多くあると判り易い。

課長：今年度中に、区の屋外案内標識デザインガイドラインに基づき整備する予定である。

委員：オリンピックは東北の復興も掲げて開催するので、パラリンピック記念として行うポローニャ展を東北に巡回する予定はないのか。

館長代理：巡回予定が既に決まっており、また日程に空きもないため新たに巡回先を加えるのは難しい。

委員：レオ・レオーニ作品の寄贈により、イタリアとより一層深い関係性は構築されるのか。

館長代理：レオ・レオーニはオランダ人であり、イタリアに住んでいたがアメリカに亡命し遺族もアメリカ在住である。アトリエがイタリアにあったため、半分くらいの作品がイタリアにあっただけなので、レオーニを通してイタリアとの交流は難しい。むしろ、アメリカの 50,60 年代のグラフィックデザインとの繋がりの方が期待できる。今後の課題としたい。

委員：観覧料無料の館蔵品展で、小冊子程度でもいいので図録の作成は出来ないのか。

委員：「転換期のリアリズムと前衛（仮）」展で、他館から借りる作品はどのくらい予定しているのか。

弘中：出品数の半分以上の 60 点程度は、他館から借りる予定である。

委員：古沢岩美の収蔵作品数は、以前行った古沢岩美展の時より増えているのか。

弘中：ご遺族の方からご寄贈いただいたりして、少しずつ増えている。今回の館蔵品展では、古沢作品を以前とは違った見せ方が出来ると思っている。

進行役：次に、令和 2 年度教育普及事業計画について説明をお願いします。

(松岡館長代理が資料 15 頁に沿って、令和 2 年度教育普及事業計画を説明)

●質疑

委員：ひよこたぬきアトリエの参加者は1日どのくらいいるのか。また、継続した内容の講座なのか

館長代理：午前と午後各回12組ずつ同様の内容を行う。家族単位で参加を受けている。また、講座内容は単発であり、継続していない。

委員：内容は絵画的な内容になるのか。

館長代理：絵画的な内容はほぼなく、工場的な内容が多い。

進行役：そのほか、ご意見・ご質問。

委員：館蔵品展でも、図録を作ることを望む。他館ではモノクロで作成したりしている。是非やっていただきたい。

進行役：それでは他にはないようなので。新しい委員の方も含め板橋区立美術館の発展のために、今後もお力添えをいただきたい。これで令和元年度板橋区立美術館運営協議会を終了する。

[閉 会]

会議の概要は、以上のとおりである。

# 令和元年度板橋区立美術館運営協議会次第

日時:令和元年11月22日(金)

午前10時

場所:板橋区立美術館講義室

1 開 会

司会:文化・国際交流課長

2 委 嘱 式

3 区長挨拶

4 各委員紹介

5 会長互選及び職務代理指名

6 会長挨拶

7 職務代理挨拶

8 議 事

(1) 報告事項

平成30年度事務実績報告

(美術館長)

(2) 審議

①令和2年度展覧会展示計画及び概要

(美術館長)

②令和2年度展覧会内容

(各担当学芸員)

③令和2年度教育普及事業計画

(美術館館長代理)

(3) その他

9 閉 会

# 令和元年度「板橋区立美術館運営協議会」委員名簿

(五十音順)

| 氏名     | 現職等                       | 専門分野     |
|--------|---------------------------|----------|
| 岸 ユキ   | 女優・画家                     | 現代美術     |
| 榑原 悟   | 岡崎市美術博物館・おかざき世界子ども美術博物館館長 | 古美術      |
| 佐藤 道信  | 東京藝術大学美術学部教授              | 現代美術     |
| 柴田 和豊  | 東京学芸大学名誉教授                | 美術教育論    |
| 返町 勝治  | 板橋区美術家連盟代表                | 美術家      |
| 寺田 農   | 池袋アトリエ村関係者                | 企画・運営    |
| 長田 謙一  | 首都大学東京客員教授<br>千葉大学名誉教授    | 西洋美術・芸術学 |
| 降旗 千賀子 | フリーランスキュレーター              | 教育普及     |
| 安村 敏信  | (一財)北斎館館長                 | 古美術      |
| 山崎 洋子  | 元カフェボローニャ代表               | 地域文化     |

任期:令和元年11月1日～令和3年10月31日

## 平成30年度事務実績（総括）

### 1. 展覧会観覧者数

| 30年度 |       | 29年度 |        | 28年度 |        | 27年度 |        |
|------|-------|------|--------|------|--------|------|--------|
| 3本   | 5,486 | 8本   | 58,095 | 8本   | 59,049 | 8本   | 44,619 |

### 2. 教育普及事業参加者数

#### (1) 展覧会にかかる講演会・イベント等

| 30年度 |     | 29年度  | 28年度  | 27年度  |
|------|-----|-------|-------|-------|
| 講演会  | 107 | 1,200 | 775   | 755   |
| イベント | —   | 556   | 518   | 719   |
| 計    | 107 | 1,756 | 1,293 | 1,474 |

#### (2) 各種技法講座・教室・各アトリエ

\*印は小学校美術鑑賞教室を再掲

| 30年度 |     | 29年度  |       | 28年度 |       | 27年度 |       |
|------|-----|-------|-------|------|-------|------|-------|
| 11回  | 254 | 42回   | 1,432 | 43回  | 1,643 | 43回  | 1,433 |
| *なし  |     | *8校9回 | 676人  | *10校 | 814人  | *7校  | 575人  |

### 3. 自主サークル支援事業参加者数

| 30年度 |    | 29年度  | 28年度  | 27年度  |
|------|----|-------|-------|-------|
| アトリエ | 休館 | 1,777 | 1,553 | 1,723 |
| 講義室  |    | 0     | 156   | 531   |
| 計    |    | 1,777 | 1,709 | 2,254 |

### 4. 入館者数合計（1+2+3）

| 30年度  | 29年度   | 28年度   | 27年度   |
|-------|--------|--------|--------|
| 5,847 | 63,060 | 63,694 | 49,780 |

区人口 10月1日 571,122 1%



## 平成30年度 美術館展覧会観覧者数

| 展覧会名                                   | 期 間              | 開館日数  | 観覧者数    | 内 訳  |      |         | うち招待免除 | 1日平均  | 観覧料 |
|--|------------------|-------|---------|------|------|---------|--------|-------|-----|
|  |                  |       |         | 小・中  | 高・大  | 一般      |        |       |     |
| 池袋モンパルナスとニシムイ美術村展                      | 2月24日から<br>4月15日 | 44 日  | 5,003   | 95   | 109  | 4,799   | 1,097  | 114   | 有料  |
|  | (4/1～<br>4/15)   | (13日) | (2,071) | (20) | (47) | (2,004) | (610)  | (159) |     |
| 2018イタリア・ボローニャ 国際絵本原画展<br>(成増アートギャラリー) | 7月6日から<br>7月29日  | 24 日  | 3,199   | 248  | 226  | 2,725   | 2,925  | 133   | 有料  |
| 第17回佐藤太清記念<br>中学生絵画展<br>(ハイライフプラザ)     | 2月21日から<br>2月24日 | 4 日   | 216     | 43   | 13   | 160     | /      | 54    | 無料  |
|  |                  | 41 日  | 5,486   | 311  | 286  | 4,889   | 3,535  | 134   | /   |

### 【参考】休館中の他館におけるコレクション展

| 展覧会名   | 期 間               | 来館者数     | 出品数  | 会 場          |
|--|-------------------|----------|------|--------------|
| 江戸絵画名品展  | 9月4日から<br>10月28日  | 約130,000 | 7点   | ロシア・プーシキン美術館 |
| 百花繚乱列島<br>-江戸諸国 <sup>ウマイモン</sup> 絵師めぐり-              | 4月6日から<br>5月20日   | 11,278   | 18点  | 千葉市美術館       |
| 板橋区立美術館コレクションによる<br>日本のシュルレアリスム展                     | 4月28日から<br>6月10日  | 4726     | 60点  | 川越市美術館       |
| 時代に生き、時代を超える<br>板橋区立美術館コレクションの日本<br>近代洋画 1920s-1950s | 9月15日から<br>12月24日 | 9457     | 112点 | 群馬県立館林美術館    |

# 平成30年度 教育普及事業実績

## 1 講演会

| No. | 日付    | テーマ及び講師  | 参加人員 | 展覧会名                       |
|-----|-------|--|------|----------------------------|
| 1   | 4月14日 | 講演会「時空を横断する画家たち<br>東京⇄沖縄、1930年代から70年代へ」<br>小沢節子(近現代史研究者) | 107  | 東京⇄沖縄 池袋モンパ<br>ルナスとニシムイ美術村 |

## 2 イベント・ギャラリートーク・ワークショップ

休館のため休止

## 3 技法講座・教室・各アトリエ

| No. | 事業名                       | 内 容   | 講 師   | 実施回数                              | 延人員 |
|-----|---------------------------|---|---|-----------------------------------|-----|
| 1   | 鑑賞講座<br>「近現代美術を<br>行って見る」 | 池袋モンパルナス、落合文化村の通<br>常非公開のアトリエに「行って見る」こ<br>とで作品とその時代を体感する。   | 当館学芸員<br><br>本田晴彦<br>(アトリエ村資料室代表)   | 4月7日<br>8日<br>(全2回)               | 38  |
| 2   | 鑑賞講座<br>「江戸の美術を<br>行って見る」 | 明治150年を記念し、江戸・明治に関<br>する展覧会に「行って見る」ことで、美<br>術作品への興味や知識を深める。<br><br>※11/18は本庁舎2階人材育成セン<br>ターにて開催                   | 当館学芸員<br><br>安藤昌就<br>(池上本門寺霊宝殿<br>主事)<br>木村拓也<br>(龍子記念館学芸員)<br>湯浅淑子<br>(たばこと塩の博物館<br>学芸員)<br>井村恵美<br>(郵政博物館学芸員) | 11月18日<br>24日<br>25日<br>(全3回)     | 41  |
| 3   | ひよこ・たぬき<br>アトリエ           | 幼児(3歳)から小学生がさまざまな<br>ジャンルのアーティストによる指導のも<br>と親子で楽しみながら造形体験をする<br>ワークショップ。<br><br>※8/26、11/17は本庁舎2階人材育成<br>センターにて開催 | スサイタカコ<br>(画家)<br>丸山芳子<br>(美術家)<br>エレン・ウエイステ<br>イン<br>(イラストレーター)  | 4月15日<br>8月26日<br>11月17日<br>(全3回) | 175 |

## 4 小学生美術鑑賞教室

休館のため休止

## 5 関連事業

※ポローニャ展の成増アートギャラリーにて開催に伴う成増図書館主催イベント

| No. | 日付    | テーマ及び講師   | 参加人員 | 場所        |
|-----|-------|---|------|-----------|
| 1   | 7月16日 | 講演会「久しぶりのポローニャ・ブックフェアと私の絵本」<br>山田和明(絵本作家・イラストレーター)、当館学芸員              | 44   | 成増図書館視聴覚室 |
| 2   | 7月22日 | 講演会「『マルコとパパ』ができるまでとスペイン語圏の<br>子どもの本ーラガッツィ賞受賞作を中心にー」<br>宇野和美(スペイン語翻訳家) | 24   |           |
| 3   | 7月28日 | 講演会「今年のポローニャブックフェア 総復習」<br>広松由希子(絵本評論家)、当館学芸員                         | 46   |           |

板橋区議会で出された美術館に関する主な意見等（要約）

（平成 30 年 11 月～令和元年 10 月まで）

| 意見等  | 区の考え方  |
|--|--|
| <p>内外から評価の高い板橋区立美術館の狩野派コレクションの意義とこれからの方針について考えを伺う。<br/>（平成 30 年 12 月第四回定例会）</p>  | <p>狩野派にいち早く着目し、収集してきたコレクションは、斬新な切り口の展覧会や歴史に埋もれた絵師の掘り起こしなどによって、板橋の特色として内外から注目されてきた。<br/>毎年の館藏品展等において、多くの方にご覧いただいているほか、今年はロシアのプーシキン美術館で開催された江戸絵画名品展へも日本の代表として七点選定され、出品した。<br/>今後も、美術館運営協議会の意見や財政状況を踏まえつつ、狩野派コレクションの充実を図り、改修を機に改善される展示環境を活かして、板橋らしい展覧会を企画していく</p> |
| <p>美術館の改修に併せてカフェを常設し、障がい者の働く場として提供する、またはスマイルマーケットのような障がい者のマルシェを配置することについて要望していたが、どのように反映されたのか。<br/>（平成 31 年 2 月第一回定例会）</p> | <p>改修後の美術館には、来館者あるいは周辺散策者が自由に休息・交流できる場として、館入口付近にラウンジを設ける予定であり、その中でカフェの常設を検討してきた。<br/>赤ちゃんの駅や図録の閲覧場所などに加え、喫茶に必要なスペースを確保すると狭小となり、来館者数の想定などから総合的に勘案すると事業者の参入は見込めなかった。<br/>ラウンジには自動販売機を設置するほか、絵本関連の展覧会開催時にはアトリエを活用したカフェの運営を予定しており、障がい者の自主製品の販売も引き続き検討していく</p>      |
| <p>触察資料を使った展示は、視覚障がい者のみならず、晴眼者の障がい理解にも寄与する機会となるため、区立美術館でも導入を検討していただきたいが、如何か。<br/>（令和元年 9 月第 3 回定例会）</p>                    | <p>区立美術館では、改修によるユニバーサルデザインの推進と展示機能の充実を活かし、障がいの有無にかかわらず、板橋の個性ある芸術に触れる機会の創出を図っている。<br/>来年のパラリンピック開催を記念して、だれもが触れて鑑賞できるような展覧会の開催も検討しており、触察資料を導入する様々な手法を研究していく。</p>   |
| <p>美術資料の購入はコンセプト・一貫性を持って、計画的に行われているか。<br/>（平成 31 年 3 月予算審査特別委員会区民環境分科会）</p>  | <p>収集に関する方針は、板橋区にゆかりのある作家の美術資料、大正・昭和期の近現代の池袋モンパルナスと呼ばれる時代を中心とした近現代美術資料、そして狩野派を中心とした古美術資料の 3 つを柱として収集している。<br/>計画的な購入は難しいが、区では美術資料収集基金を活用し、財政状況や専門家の意見などを踏まえながら、上記方針に沿った資料を適宜収集していく。</p>  |
| <p>リニューアルによって、国宝・重要文化財の展示も可能となるようだが、計画はあるか。<br/>（平成 31 年 3 月予算審査特別委員会区民環境分科会）</p>  | <p>国宝・重要文化財の展示には文化庁の許可が必要であり、今回のリニューアルによって、許可を得やすい環境を整えたところである。展示ケースや周辺環境の温度・湿度管理について適正に運営できているか、1年から2年ぐらいはみないといけないので、実際にそういった展覧会ができるのは、早くてもオリンピックの翌年ぐらいかという見込みで、計画を立てていきたいと考えている。</p>   |
| <p>リニューアルオープンでは、板橋区ゆかりの作家、前野町に住んでいた古沢岩美画伯の特集を組むべきではないか。<br/>（平成 31 年 3 月予算審査特別委員会区民環境分科会）</p>                              | <p>リニューアルオープンのときは、6月末～7月という時期的にも当館恒例のポローニャ国際絵本原画展を計画している。古沢岩美の作品展示は今後の近現代関連の展覧会において検討していく。</p>   |

| 意見等   | 区の考え方   |
|---|---|
| <p>ゴジラを生んだ美術監督の井上泰幸氏の姪御さんが板橋区内に住んでいて、作品を所蔵している。また、タイムズ誌の世界に影響を与えた100人に選ばれた現代美術収集家も板橋区内に住んでいる。しかも作品を貸してもいいと言っている。これまでの美術館の方針とは異なっているが、板橋ゆかりの方の作品で、多くの方が興味持ってくれるであろう企画を積極的に考えていってほしい。</p> <p>(平成 31 年 3 月 予算審査特別委員会区民環境分科会)</p> | <p>立地条件が悪くても足を運んでいただけるよう、江戸狩野派、池袋モンパルナス、絵本という3つの柱を中心に、資料収集やオンリーワンの展覧会を企画してきた。今後も、これら40年にわたる実績を大切にしつつ、美術館運営協議会の意見を踏まえながら、さらに多くの方に親しまれる美術館となるよう、魅力ある展覧会を企画していく。</p>   |
| <p>芸術家を志す方々の活動拠点・支援拠点として、美術館を活用する視点は大事だと思う。展覧会も大切だが、アトリエ利用や区民の作品展などにもっと力を入れるべきではないか。</p> <p>(平成 31 年 3 月 予算審査特別委員会区民環境分科会)</p>  | <p>美術館の展覧会としては3つの柱で展開しているが、その他に、区と文化団体連合会及び文化・国際交流財団の3者が共催する区民文化祭の事業として約1か月の間に区民美術展、美術家作品展、区民書道展、書家作品展の4つを美術館で開催しているほか、2月には教育委員会による小中学校作品展が開催されている。</p> <p>このほか、リニューアルによってアトリエの貸出可能日数もリニューアルによって大幅に増える見込みであり、教育普及事業にも力を入れていきたいと考えている。</p> |

## 令和2年度 年間展示計画(案)

| 会期   | 展覧会名  | 概要  | 料金 |
|--|---|---|----|
| 3月7日(土)<br>～<br>5月10日(日)<br>56日間<br>(元: 21日<br>2: 35日) | 「物語の庭<br>深井隆 彫刻展」   | 平成30年度をもって東京藝術大学を退任された、深井隆の展覧会を開催する。深井隆は板橋区在住であり、また、「発信//板橋//2016 江戸ー現代」展ではコミッショナーを務めていただくなど、当館には大変関わりの深い彫刻家です。本展では、これまでの代表作とともに新作も展示します。   | 有料 |
| 5月23日(土)<br>～<br>6月28日(日)<br><br>32日間                  | だれも知らない<br>レオ・レオーニ展                                       | 広く知られている絵本作家、レオ・レオーニの全貌を探る展覧会。1997年に実施した「レオ・レオーニ展」により作家自身と交流を深めた板橋区立美術館は、1999年にレオーニ氏が逝去した後は、ご遺族のご協力により、さらなる作品調査を進めていました。本展では、これまで知られていなかった1930年代のデザインの仕事や、イラストレーション、タブローなどを展示します。 | 有料 |
| 7月11日(土)<br>～<br>8月10日(月祝)<br><br>27日間                 | 東京オリンピック記念<br>館蔵品展<br>古美術<br>「江戸絵画の五つの輪」<br>(仮)           | 東京オリンピック・パラリンピックを迎える2020年夏に当館では、幕府の御用絵師である江戸狩野派の品格溢れる作品から、民間で活躍した江戸っ子絵師らによる粋な作品まで、江戸絵画を身近に感じていただく館蔵品展を開催します。  | 無料 |
| 8月22日(土)<br>～<br>9月27日(日)<br><br>32日間                  | 東京パラリンピック記念<br>2020イタリア・ボローニャ<br>国際絵本原画展                  | 今回で開催54回目を迎えるイタリア・ボローニャ市で毎年開催されている世界最大の規模を誇る絵本原画コンクール。世界中の新人イラストレーターの登竜門とされている国際コンクールの入選作品を展示します。板橋では40回目を迎えます。また、恒例の展覧会の中で、パラリンピックにちなみ、触る原画展と触る絵本の特別展示も行います。                     | 有料 |
| 10月14日(水)<br>～<br>11月8日(日)<br>19日間                     | 区民文化祭   | 書家作品展 [10/14～10/18] 5日<br>美術家作品展 [10/21～10/25] 5日<br>区民美術展 [10/28～11/1] 5日<br>区民書道展 [11/5～11/8] 4日  | 無料 |
| 11月13日(金)<br>～<br>1月14日(木)<br><br>47日間                 | 館蔵品展 近現代<br>「寺田政明と古沢岩美<br>の時代 -池袋モンパ<br>ルナスから板橋・前野町<br>へ」 | 板橋区立美術館では開館以来、池袋モンパルナスや地元板橋ゆかりの作家の作品を中心に収集、研究、展示を行ってきました。今回の展覧会では、戦前、戦中、戦後と活躍を続けたふたりの画家の作品を当館のコレクションによってご紹介します。   | 無料 |
| 1月19日(火)<br>～<br>2月21日(日)<br>28日間                      | 区立小・中学校<br>作品展  | 中学校作品展 [1/19～1/31] 12日<br>小学校児童作品展(前期) [2/3～2/11] 8日<br>小学校児童作品展(後期) [2/13～2/21] 8日   | 無料 |
| 2月26日(金)<br>～<br>4月7日(水)<br><br>35日間                   | 「転換期のリアリズムと前<br>衛」(仮)                                     | 本展では、1930年代後半から40年代の戦中、戦後の日本の転換期に、池袋に集まった鬨光や麻生三郎、吉井忠、松本峻介や京都に暮らす北脇昇や小牧源太郎など、前衛絵画を志向する画家たちがそれぞれに現実を見つめ、描いた作品を資料と共に展示します。   | 有料 |
| 2月18日(木)<br>～<br>2月21日(日)<br>4日間<br>成増アトホール            | 佐藤太清記念<br>中学生絵画展  | 佐藤太清記念青少年美術奨励基金条例に基づき、全国の中学生の絵画作品を広く公募し、展示。また京都府福知山市が全国の高・大学生から公募した絵画作品の巡回展を同時開催します。  | 無料 |



## 「だれも知らないレオ・レオーニ展」

趣 旨 広く知られている絵本作家、レオ・レオーニの全貌を探る展覧会です。1997年に実施した「レオ・レオーニ展」により作家自身と交流を深めた板橋区立美術館は、1999年にレオーニ氏が逝去した後は、ご遺族のご協力により、さらなる作品調査を進めていました。本展では、これまで知られていなかった1930年代のデザインの仕事や、イラストレーション、タブローなどを展示します。もちろん、代表的な絵本原画も含まれています。また、展覧会終了後、作家ご遺族から67点の作品と資料が当館に寄贈されることになっています。

会 期 令和2(2020)年5月23日(土)～6月28日(日) [32日間]  
(月曜休館)

主 催 板橋区立美術館、朝日新聞社

観 覧 料 有 料 一般650円、高・大生450円、小・中生200円  
土曜日は小・中・高校生は無料  
(20名以上団体割引、65歳以上高齢者割引、障がい者割引あり)

展示点数 イラストレーション、油彩画、彫刻、スケッチ、雑誌など約400点

東京オリンピック記念  
館蔵品展「江戸絵画の五つの輪」(仮)

趣 旨 東京オリンピック・パラリンピックを迎える2020年夏に当館では、幕府の御用絵師である江戸狩野派の品格溢れる作品から、民間で活躍した江戸っ子絵師らによる粋な作品まで、江戸絵画を身近に感じていただく館蔵品展を開催します。

展覧会全体は、五輪にちなんで、大小五つのテーマにより構成します。また、外国人来館者にも楽しんでいただけるよう、英訳した解説や写真スポットの設置などします。新たに購入した狩野派の名品や、修復後初公開となる屏風もお披露目します。

会 期 令和2(2020)年7月11日(土)～8月10日(月祝) [27日間]  
(月曜休館、但し8/10は開館する)

主 催 板橋区立美術館

観 覧 料 無 料

関連イベント 講演会、ギャラリートーク、小学校鑑賞教室

展示点数 屏風、掛軸など約40件

## 東京パラリンピック記念

# 「2020 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」

趣 旨 イタリア・ボローニャのブックフェアで開催される絵本原画の国際コンクールの入選作品約 500 点を展示します。毎年日本人の活躍も注目されている本展は、出版・未出版に関わらず審査の対象とされるため、新人作家の登竜門としての役割も果たしています。本展は、当館では 1981 年から毎年開催し、今回で 40 回目となります。会期中は、小学校の鑑賞教室、絵本に関する講座・ワークショップなどのイベントを盛りだくさんに行う予定です。なお、本年はパラリンピックにちなみ、触る原画展と触る絵本の特別展を開催します。例年とは異なり西宮会場の後の開催となります。

会 期 令和 2 (2020) 年 8 月 22 日 (土) ~9 月 27 日 (日) [32 日間]  
(月曜休館、ただし 9/21 は開館、9/23 は休館)

主 催 板橋区立美術館、 社団法人 日本国際児童図書審議会 (JBBY)

観 覧 料 有 料 一般 650 円、高・大生 450 円、小・中生 200 円

土曜日は小・中・高校生は無料

(20 名以上団体割引、65 歳以上高齢者割引、障がい者割引あり)

教育普及事業・関連イベント

- ・ 小学校鑑賞教室
- ・ 小学生向けワークショップ
- ・ 親子で楽しむ絵本制作
- ・ 本格的に絵本作家を目指す人のためのサマーセミナー「夏のアトリエ」

展示点数 イラストレーション 約 500 点

巡回予定

|               |                     |
|---------------|---------------------|
| 兵庫県西宮市大谷記念美術館 | 7/4 (土) ~8/16 (日)   |
| 四日市市立博物館      | 10/3 (土) ~11/1 (日)  |
| 石川県立七尾美術館     | 11/6 (金) ~12/13 (日) |
| 太田市立美術館図書館    | 12/19 (土) ~1/24 (日) |



## 「区民文化祭」

趣 旨 広く区民の美術・書道の普及、発展を図るため、区民参加による  
展覧会を開催します。

会 期 令和2(2020)年10月14日(水)～11月8日(日) [19日間]

(1) 書家作品展 10月14日(水)～10月18日(日) [5日間]

(2) 美術家作品展 10月21日(水)～10月25日(日) [5日間]

(3) 区民美術展 10月28日(水)～11月1日(日) [5日間]

(4) 区民書道展 11月5日(木)～11月8日(日) [4日間]

主 催 板橋区

共 催 板橋区文化団体連合会、板橋区書道連盟、板橋区美術家連盟、  
(公財)板橋区文化・国際交流財団

会 場 板橋区立美術館

観 覧 料 無 料

## 館蔵品展

### 「寺田政明と古沢岩美の時代

#### —池袋モンパルナスから板橋・前野町へ」

趣 旨 寺田政明（1912-1989）、古沢岩美（1912-2000）は、共に九州で生まれ育ち、画家を志して上京し、戦前は池袋モンパルナス、戦後は板橋区前野町で暮らした画家です。板橋区立美術館は、開館直後より1979年「寺田政明回顧展」、1990年「受贈記念 寺田政明展」、1982年「古沢岩美展」、1994年「白井謙二郎・古沢岩美展」、2007年「新寄贈品による古沢岩美展」など、彼らの作品を紹介する展覧会を行ってきました。また、板橋区立美術館では作品購入やご寄贈により、彼らのまとまったコレクションを作ることができました。今回の展覧会では、戦前、戦中、戦後と活躍を続けたふたりの画家の作品を当館のコレクションによってご紹介いたします。

会 期 令和2（2020）年11月13日（金）～令和3（2021）年1月14日（木）  
〔47日間〕  
（月曜休館、但し11/23、1/11は開館し、  
11/24、12/28～1/4、1/12は休館）

主 催 板橋区立美術館

観 覧 料 無 料

関連イベント 講演会、ギャラリートーク、小学校鑑賞教室

展示点数 油彩画、デッサン、美術資料、他、約90点。

## 「区立小・中学校作品展」

趣 旨 小・中学校における書道・美術・図工学習の成果を展示し、広く  
区民に鑑賞の機会を設けます。

会 期 令和3(2021)年1月19日(火)～2月21日(日) [28日間] (予定)  
(月曜休館)

(1) 中学校美術展・書き初め展

1月19日(火)～1月31日(日) [12日間] (予定)

(2) 小学校児童作品展(前期)

2月3日(水)～2月11日(木祝) [8日間] (予定)

※会期中 学校鑑賞日 5日間(予定)

(3) 小学校児童作品展(後期)

2月13日(土)～2月21日(日) [8日間] (予定)

※会期中 学校鑑賞日 4日間(予定)

会 場 板橋区立美術館

観 覧 料 無 料

実施団体 板橋区教育委員会  
板橋区立中学校教育研究会  
板橋区教育会  
板橋区立中学校教育研究会国語科研究部  
板橋区立中学校教育研究会美術科研究部  
板橋区教育会書写研究部  
板橋区教育会図工研究部

## 「転換期のリアリズムと前衛」(仮)

趣 旨 板橋区立美術館では、1979年の開館以来、寺田政明や井上長三郎といった板橋や池袋モンパルナスにゆかりのある画家の作品をご紹介してきました。彼らが池袋に暮らしていたのは、1930年代後半から40年代の戦中、戦後の日本の転換期に重なります。この頃、池袋に集まった、鬚光や麻生三郎、吉井忠、松本竣介や京都に暮らす北脇昇や小牧源太郎など、前衛絵画を志向する画家たちが描いていた作品に共通する特徴として、静物や人物を通じて現実を直視し、重苦しい時代背景をも描き出したことが挙げられます。戦争により表現や画材に規制が加えられる中、画家たちは試行錯誤しました。特にシュルレアリスム絵画に対する弾圧は彼らの作品を一転させました。美術雑誌ではシュルレアリスムに代わり、ルネサンス絵画などの西洋古典絵画の紹介が盛んになります。彼らは、戦時下に何を描くべきかを議論し、制作に励みました。灯火管制の下で身近な静物や家族を描いた作品には、西洋古典絵画の影響を感じさせるものもあり、濃密な時間と限られた時間で現実に迫ろうとする画家の荒い息遣いが感じられます。

本展では、戦時下に前衛画家たちがそれぞれに現実を見つめ、描いた作品を資料と共に展示いたします。

会 期 令和3(2021)年2月26日(金)～4月7日(水) [35日間]  
(月曜休館)

主 催 板橋区立美術館、美術館連絡協議会(予定)

観 覧 料 有 料 一般650円、高・大生450円、小・中生200円  
土曜日は小・中・高校生は無料

(20名以上団体割引、65歳以上高齢者割引、障がい者割引あり)

関連イベント 講演会、ギャラリートーク、鑑賞教室

展示点数 油彩画、デッサン、美術資料、他、約90点。

巡回予定 京都府京都文化博物館

## 「佐藤太清記念中学生絵画展」

趣 旨 青少年の美術教育の一層の充実を図るため、佐藤太清青少年美術  
励基金条例に基づき、全国の中学生の絵画美術作品を広く公募し、  
「佐藤太清記念 中学生絵画展」を開催します。2020年度で第18回  
目の開催となります。

また、京都府福知山市が全国の高校生・大学生から公募した絵画  
作品を展示する「佐藤太清賞公募美術展」の巡回展を同時に開催し  
ます。

|      |          |        |       |
|------|----------|--------|-------|
| 展示構成 | 「中学生絵画展」 | (中学生)  | 42点程度 |
|      |          | ・佐藤太清賞 | 1点    |
|      |          | ・板橋区長賞 | 1点    |
|      |          | ・特選    | 10点程度 |
|      |          | ・入選    | 30点程度 |

※それぞれに賞状と記念品を授与します。

|  |                     |       |
|--|---------------------|-------|
|  | 「佐藤太清賞公募美術展」-福知山市分- | 67点程度 |
|  | ・絵画の部 (高校生)         |       |
|  | 佐藤太清賞               | 3点    |
|  | 特選                  | 9点程度  |
|  | 入選                  | 29点程度 |
|  | ・日本画の部 (大学・専門学生)    |       |
|  | 佐藤太清賞               | 1点    |
|  | 特選                  | 3点程度  |
|  | 入選                  | 24点程度 |

※特選作品の中から各1点に板橋区長賞を授与します。

|       |                             |       |
|-------|-----------------------------|-------|
| 会 期   | 令和3(2021)年2月18日(木)～2月21日(日) | [4日間] |
| 主 催   | 板橋区立美術館                     |       |
| 会 場   | 成増アクトホール                    |       |
| 協 力   | 京都府福知山市                     |       |
| 観 覧 料 | 無 料                         |       |

## 令和2（2020）年度教育普及事業

### 一般向け美術技法講座・教室

| 講座名       | 内容   | 回数 |
|-----------|--|----|
| 行って見る 古美術 | 板橋区立美術館内の講演会と、他館の見学で構成された講座。「館蔵品展」に合わせて企画。 | 1  |
| 行って見る 近現代 | 板橋区立美術館内の講演会と、他館の見学で構成された講座。「館蔵品展」に合わせて企画。 | 1  |
| 技法講座      | 初めて描くことに取り組む人向けに手近な材料で鉛筆画に取り組む             | 4  |

### 子ども対象事業

| 講座名         | 内容                                 | 回数 |
|-------------|------------------------------------|----|
| ひよこ・たぬきアトリエ | 3歳から小学生の家族対象。アーティストとともに親子で造形体験をする。 | 12 |